

小さな町の国際交流

Pertukaran Internasional di Kota Kecil



鹿折地区運動会にて

令和5年2月19日国際協力セミナー
鹿折まちづくり協議会 熊谷 英明

気仙沼市の位置 Lokasi Kota Kesennuma



気仙沼市は宮城県の北東に位置



鹿折地区は気仙沼市の中央から北部

東日本大震災被災直後の 鹿折地区

Keadaan Distrik Shishiori
Segera Setelah Gempa Besar Jepang Timur

火災発生



津波浸水時



火災の後

鹿折地区の震災前と現在の人口・世帯数

Populasi dan Jumlah KK di Distrik Shishiori Sebelum Bencana dan Saat Ini

	人口	男性	女性	世帯数
2010年	7,743人	3,744人	3,999人	2,771世帯
2022年	4,905人	2,336人	2,569人	2,179世帯
減少値	-2,838人 (37%減) Populasi menurun 37%			-592世帯 (22%減) Jumlah KK menurun 22%



2009年



2020年

震災を教訓とし住民が主体とした避難所運営を行っている。

Pengelolaan Posko Pengungsian oleh Warga berdasarkan Pembelajaran dari Bencana Gempa



パーティーション組立
Perakitan Partisi



新型コロナウイルス対策済の受付（検温・消毒）
Penerimaan Setelah Penanggulangan COVID-19
(Pengukuran Suhu / Desinfeksi)

技能実習生の防災訓練参加のきっかけ

～ 一人の中学生の研究からはじまった ～

Momentum bagi Peserta Magang Pelatihan Teknis untuk Mengikuti Pelatihan Tanggap Bencana
～ Penelitian Seorang Siswa Sekolah Menengah Pertama ～



令和4年 気仙沼市東日本大震災 追悼と防災のつどい 「震災伝承と防災教育」

2 3.11の経験や震災伝承と防災学習 (つづき)

鹿折中マイプロジェクト部での活動
災害時の技能実習生と
地域連携のあり方を探究

- ① 避難所初期設営訓練に技能実習生を招く
- ② 一緒に活動し、感想や意見を集約
- ③ 災害時の安心感へつないでいく

Two photographs are included in the presentation. The top photo shows a person in a blue jacket working in a large, open hall, possibly a temporary shelter or training area. The bottom photo shows a group of people sitting on the floor in a circle, engaged in a discussion or activity. One person is wearing a black t-shirt with 'EVUK' written on it.

令和4年 気仙沼市東日本大震災 追悼と防災の集いにて

技能実習生の参加状況

Jumlah Peserta Magang Pelatihan Teknis yang Berpartisipasi



2021年秋 6名
Musim gugur 2021 6 orang



2022年春 40名
Musim semi 2022 40 orang



2022年秋 60名
Musim gugur 2022 60 orang

訓練内容（垂直避難） Isi Pelatihan (Evakuasi Vertikal)

鹿折南住宅
Perumahan Shishiori Minami



屋上へ Ke atap



屋上TP約20メートル
Atap di ketinggian sekitar 20 meter



鹿折中学校へ
Ke SMP Shishiori



訓練内容 (全体の訓練の様子)

Isi Pelatihan (Situasi Pelatihan Secara Keseluruhan)



スポーツ大会等への参加

Partisipasi dalam Pertandingan Olahraga, dll.



バドミントン大会 さすがインドネシアの国技。

Pertandingan bulu tangkis Olahraga nasional Indonesia.

とても強かった 😲 Sangat kuat



鹿折地区市民運動会 技能実習生チームで参加

Pesta Olahraga Warga Distrik Shishiori
Berpartisipasi sebagai Tim Peserta Magang Pelatihan Teknis



積極的に地域行事へ参加

Partisipasi Aktif dalam Acara Setempat

祝 令和2年気仙沼市成人式



成人式
Upacara Kedewasaan



運動会
Pesta olahraga



公園に植樹
Penanaman pohon di taman



防災訓練
Pelatihan tanggap bencana



バーベキュー大会
Acara barbekyu

鹿折地区市民運動会 技能実習生チームで参加

Pesta Olahraga Warga Distrik Shishiori Berpartisipasi sebagai Tim Peserta Magang Pelatihan Teknis



年 代	ふ り か え り Kilas Balik
2006年	<p>妻が勤めている会社に、気仙沼市に初めて受け入れるインドネシアからの実習生が7人来ました。実習生のお世話役が妻だったので、彼女たちの情報を聞くことができました。</p> <p>Di perusahaan tempat istri saya bekerja ada 7 orang Peserta Magang Pelatihan Teknis dari Indonesia</p>
2007年	<p>妻が実習生たちに「日本では地域行事として運動会を行っているので、見学しないか」と誘い見学させた。見学だけではなく、当日はオープン種目に参加した。</p> <p>Berpartisipasi dalam jenis pertandingan terbuka pada pesta olahraga warga distrik</p>
2008年	<p>実習生が運動会に参加したいとのことで、運動会実行委員会に伺ったところ、世話役である妻が責任をもってお世話する約束のもと、私の自治会と隣の自治会にお願いして参加することになる。（実行委員メンバーは全員参加に大賛成。参加したところ好評で、近隣の自治会からも参加依頼が複数あった。）</p> <p>Berpartisipasi pada pesta olahraga warga distrik dari beberapa tim asosiasi komunitas</p>
2009年	<p>この年から、正式にインドネシアチームとして運動会に参加できるようになり、応援席やテントを実行委員会が設置してくれた。そしてこの年、生活拠点になっている自治会にお願いして、自治会メンバーに快く受け入れてもらい、市民運動会以外のスポーツ行事にも参加できるようになった。歓迎会を開いてくれる自治会もあり、食事は彼女たちがイスラム教徒ということもあり豚汁から鳥汁にするなど配慮していただいた。</p> <p>Berpartisipasi pada pesta olahraga warga distrik dan acara olahraga lainnya sebagai tim Indonesia</p>
現 在 Saat ini	<p>現在は、技能実習生が単独でチームを組んで、すべての行事に参加できるようになっている。</p> <p>Berpartisipasi pada seluruh acara sebagai tim Peserta Magang Pelatihan Teknis</p>

なぜ、このようなことができたのか私なりに考えてみました。

Alasan bisa seperti ini

1 彼女たちを快く受け入れられた一番の要因はなんだったのか

彼女たちは近所や顔見知りの人たちにいつも気持ちの良い挨拶をし、地域の人たちと良い関係を築いていた。

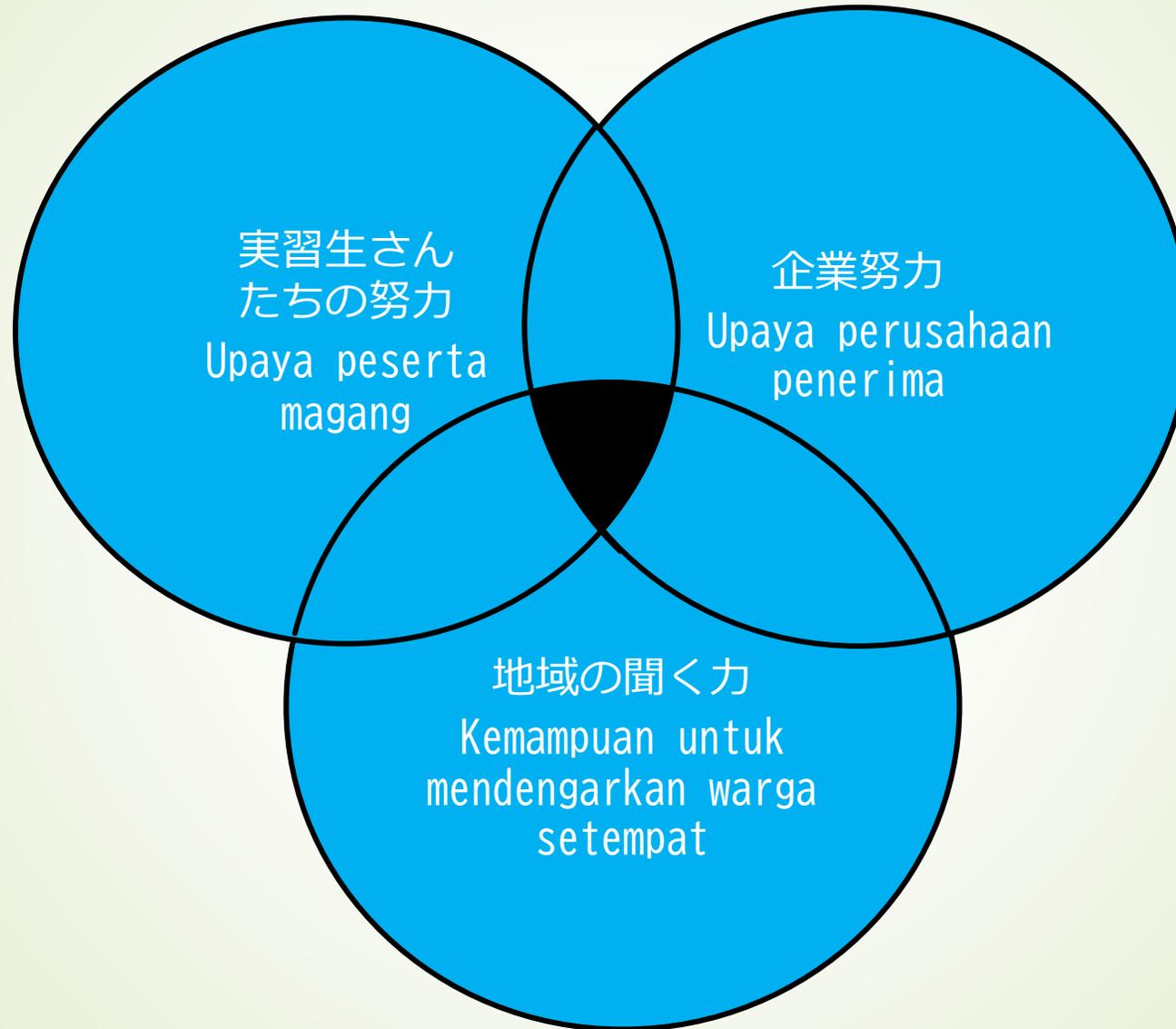
Pengucapan salam dengan baik dari mereka
Hubungan baik mereka dengan warga setempat

2 どうして彼女たちは、このようなことができたのか

- (1) 各企業さんが地域の活動に理解と協力を惜しまず、地域の方々と良い関係を築いている。
- (2) 採用する際の人選をしっかりとしている。
- (3) 社員教育をしっかりとしている。
- (4) 実習生のお世話をしっかりとみていることによって社員さんと良い関係が築けている。
- (5) 地域の人たちの聞く力があつた。

Hubungan baik antara setiap perusahaan penerima dan warga setempat
Seleksi ketat waktu penerimaan peserta magang / Pendidikan karyawan dengan baik
Hubungan baik antara karyawan dengan peserta magang / Kemampuan untuk mendengarkan warga setempat

こういったことを踏まえて考えてみると、



技能実習生の日本語学習ニーズに答えて、退職した教職員が日本語教室を立ち上げる。
現在は月に数回、日本語教室を開催している。

Kelas bahasa Jepang untuk Peserta Magang Pelatihan Teknis oleh mantan guru (beberapa kali dalam sebulan)







外国人へ方言紹介

鹿折中 3年 畠山愛生優さん

鹿折中学校（亀谷寿之校長）の3年生、畠山愛生優さんは、プロジェクト探究部で方言をテーマに取り組んだ。

「気仙沼市内で働く外国人の技能実習生に

ついて、どんな人たちかどんな仕事をしていのか知りたかった」と畠山さん。地域の人たちも実習生とのつながりは少なく、実習生とのコミュニケーションが必要と考え、地域

との交流の場として「方言教室」を企画した。

畠山さんは方言の先生役となる地域の人たちに声掛けするなど、できる限り自分で段取りをした。当日はインドネシア出身の技能実習生3人と、地域住民7人が参加してくれた。



方言教室の参加者と記念撮影する畠山さん(前列左)

畠山さんが気仙沼でよく使われる方言を説明。それを地域の人たちが、「んだべ〜」や「めんこい」などの方言を会話形式で実践。実習生は戸惑いながらも方言を話してみた。実習生からは逆に、インドネシア語のあいさつを教わるなど終始、和気あいあいの雰囲気

の教室となった。

「全員が楽しそうだったので良かった。今後もっと交流の機会をつくっていきたい」と話す畠山さんは、このほか、地区の防災訓練に技能実習生が参加できるよう働きかけも行っている。

Pengenalan dialek kepada orang asing Hatakeyama, siswa kelas 3 SMP Shishiori

2023年1月1日 地元紙に掲載

インドネシア

Indonesia

日本

Jepang

友好

Persahabatan



ご清聴
ありがとうございます。
ございました。

Terima kasih

